

04 継続は力なり けん玉という特技

Q/ 競技けん玉とはどのような競技ですか。

A/ 競技けん玉は基本的に一対一で行われます。くじ引きで技を決めてから一人ずつそれに取り組み、成功した方が一本とります。どちらも成功もしくは失敗した場合は、そのターンでは引き分けとなります。この流れを技を変えて何度か繰り返し、二本または三本先取した方が勝利します。勝敗が決まらない場合は、タイム競技を行います。一連の技の組み合わせを合図と同時に開始し、先に終わらせた選手の勝利です。



長年使用しているけん玉。

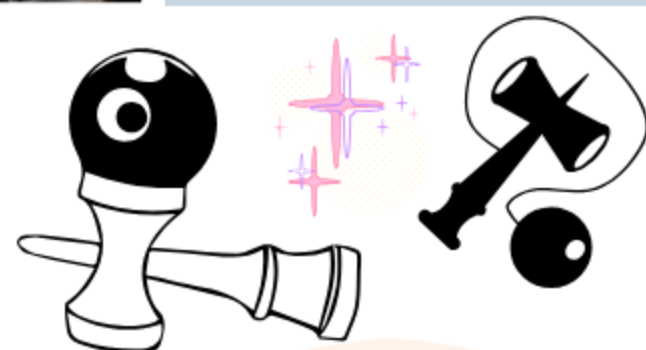


A.S.さん

第31回全日本少年少女けん玉道選手権大会・関東地区予選 女子の部優勝(2019)
第18回神奈川県子どもけん玉大会 優勝(2019)

Q/ 始めたきっかけはなんですか

A/ 兄がもともとけん玉教室に通っていて、いつのまにか私も通っていました。



Q/ 女子高生活がけん玉に生きた経験はありますか。

A/ 女子高生活がけん玉に生きた経験はあまりありませんが、逆にけん玉が女子高生活に役立った経験なら、あるとも言えます。英語の授業のスピーチで特技を披露する機会があり、けん玉を実演して先生の興味を引いたことで、印象に残る発表ができました。

Q/ いつからけん玉を始めましたか。

A/ 本格的に始めたのは小学1年生からです。

Q/ けん玉の最大の魅力を教えてください。

A/ けん玉が一本ありさえすれば、いつでもどこでも誰でも挑戦できる場所です。おまけに競技人口が少ないので、ひとたびけん玉の世界に入り込めば交友関係があっという間に広がります。年齢や国籍を問わないのもいいところです。



優勝時の賞状

Q/ けん玉とはあなたにとってどのようなものですか。

A/ 大会や検定の練習のためにたくさんの時間を費やしたので、「もしけん玉をやっていなかったらもっと友人と遊べたのに」と憎く思うこともありましたが、気の遠くなるような時間を注ぎ込んだからこそ技術を得られたのは確かです。私が自信をもって「特技」だといえるものがけん玉であり、一つのアイデンティティでもあります。

Q/ けん玉をやっていて難しいことを教えてください。

A/ 一つの技を習得するのに数時間、多いと数ヶ月ほどかかることです。完璧に身につけた技は何年経っても確実に成功させることができます。しかし、一度成功しただけの技はすぐに繰り返し練習しないと感覚を忘れてしまいます。継続は力なり、という言葉の通りだと思います。

